



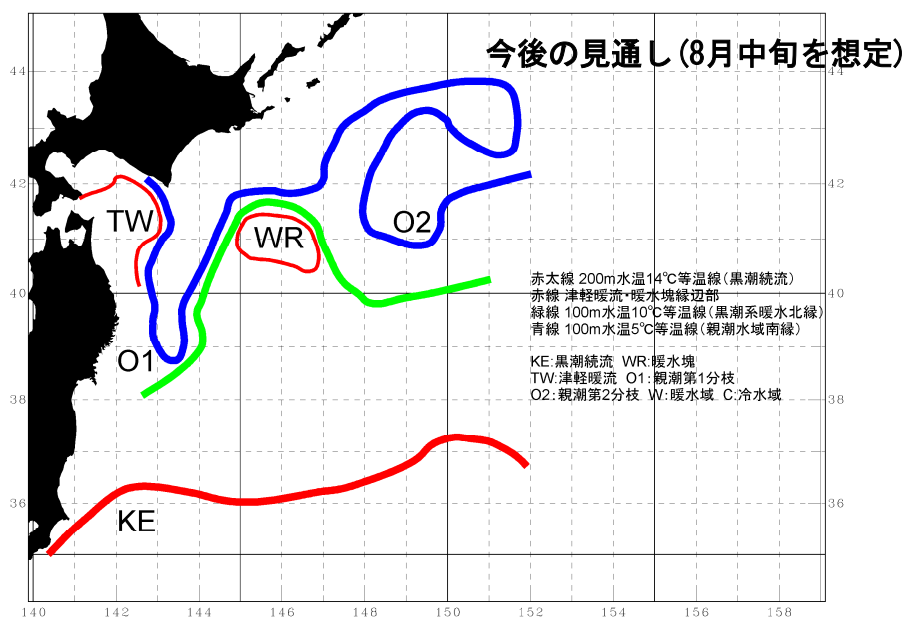
## 2019年度 第3回 東北海区海況予報

— 別表の水産関係機関が検討し国立研究開発法人水産研究・教育機構  
東北区水産研究所、北海道区水産研究所がとりまとめた結果 —

### 今後の見通し(2019年8月~9月)のポイント

- ・ 近海の黒潮続流の北限はやや北偏で推移する。
- ・ 親潮第1分枝の南限はやや南偏~かなり南偏で推移する。

Cor. TEMP. AT 100m DATE: 2019/0811 - 2019/0820



### 問い合わせ先

国立研究開発法人 水産研究・教育機構 東北区水産研究所

担当：業務推進部 杉崎、樽井

資源環境部 栗田、箕

電話：022-365-1191、ファックス：022-367-1250

当資料のホームページ掲載先URL

<http://www.fra.affrc.go.jp/pressrelease>

## 2019年度東北海区海況予報 第3号

### 《今後の見通し（2019年8月～9月）》

- (1) 近海の黒潮の北限はやや北偏（北緯 $36^{\circ} 10'$ ～ $36^{\circ} 20'$ ）で推移する。
- (2) 近海の黒潮系暖水の北限は極めて北偏（北緯 $40^{\circ} 50'$ 以北）で推移する。
- (3) 三陸沖の暖水塊は停滞し、三陸はるか沖の暖水塊は消滅する。
- (4) 親潮第1分枝の南限はやや南偏～かなり南偏（北緯 $37^{\circ} 50'$ ～ $39^{\circ} 30'$ ）で推移する。
- (5) 親潮第2分枝の南限はかなり北偏～極めて北偏（北緯 $40^{\circ} 30'$ 以北）で推移する。
- (6) 津軽暖流の下北半島東方への張り出しは平年並み～やや弱勢（東経 $142^{\circ} 50'$ ～ $143^{\circ} 20'$ ）で推移する。

### 《海況の経過（2019年1月～6月）の特徴》

- (1) 近海の黒潮の北限は1月～2月は平年並み（北緯 $36^{\circ} 10'$ ～ $36^{\circ} 20'$ ）であったが、3月～6月はやや北偏～極めて北偏（北緯 $36^{\circ} 20'$ ～ $37^{\circ} 50'$ ）で推移した。
- (2) 近海の黒潮系暖水の北限は平年並み～極めて北偏（北緯 $38^{\circ}$ ～ $41^{\circ} 10'$ ）で推移した。
- (3) 2018年2月に金華山はるか沖に形成された暖水塊は常磐沖に移動し、3月に消滅した。2018年12月に三陸沖に形成された暖水塊は下北半島はるか沖に移動し、5月に消滅した。4月には金華山はるか沖に暖水塊が形成され、三陸沖に移動した。6月には三陸はるか沖に暖水塊が形成された。
- (4) 親潮第1分枝の南限は4月に一時的にやや北偏（北緯 $39^{\circ} 40'$ ）となった以外は平年並み～極めて南偏（北緯 $37^{\circ} 30'$ ～ $39^{\circ} 30'$ ）で推移した。
- (5) 親潮第2分枝の南限は平年並み～極めて北偏（北緯 $39^{\circ} 30'$ ～ $41^{\circ} 30'$ ）で推移した。
- (6) 津軽暖流の下北半島東方への張り出しは1月はやや強勢（東経 $143^{\circ} 10'$ ）であったが、2月～6月は平年並み～やや弱勢（東経 $142^{\circ} 10'$ ～ $143^{\circ}$ ）で推移した。

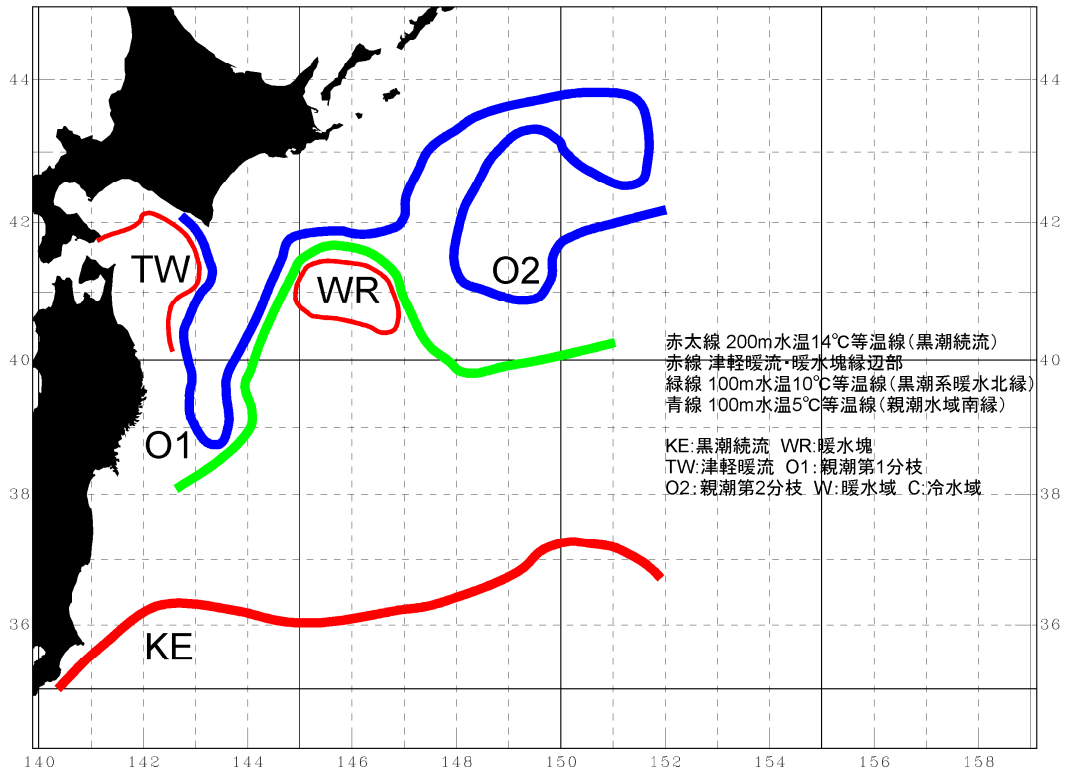
### 《現況（2019年7月中旬）の特徴》

- (1) 近海の黒潮の北限はやや北偏（北緯 $36^{\circ} 20'$ ）である。
- (2) 近海の黒潮系暖水の北限は極めて北偏（北緯 $41^{\circ} 10'$ ）である。
- (3) 暖水塊が三陸沖360kmと三陸はるか沖690kmにある。
- (4) 親潮第1分枝の南限はかなり南偏（北緯 $37^{\circ} 40'$ ）である。
- (5) 親潮第2分枝の南限は極めて北偏（北緯 $41^{\circ} 40'$ ）である。
- (6) 津軽暖流の下北半島東方への張り出しはかなり強勢（東経 $143^{\circ} 20'$ ）である。

（注）この海況予報は、国立研究開発法人水産研究・教育機構により開発され、2012年5月より運用を開始したFRA-ROMSシステムを用いた。FRA-ROMSは、我が国周辺太平洋域の海況経過を再解析し、2ヶ月先までの海況を予測する海況予測システムである。

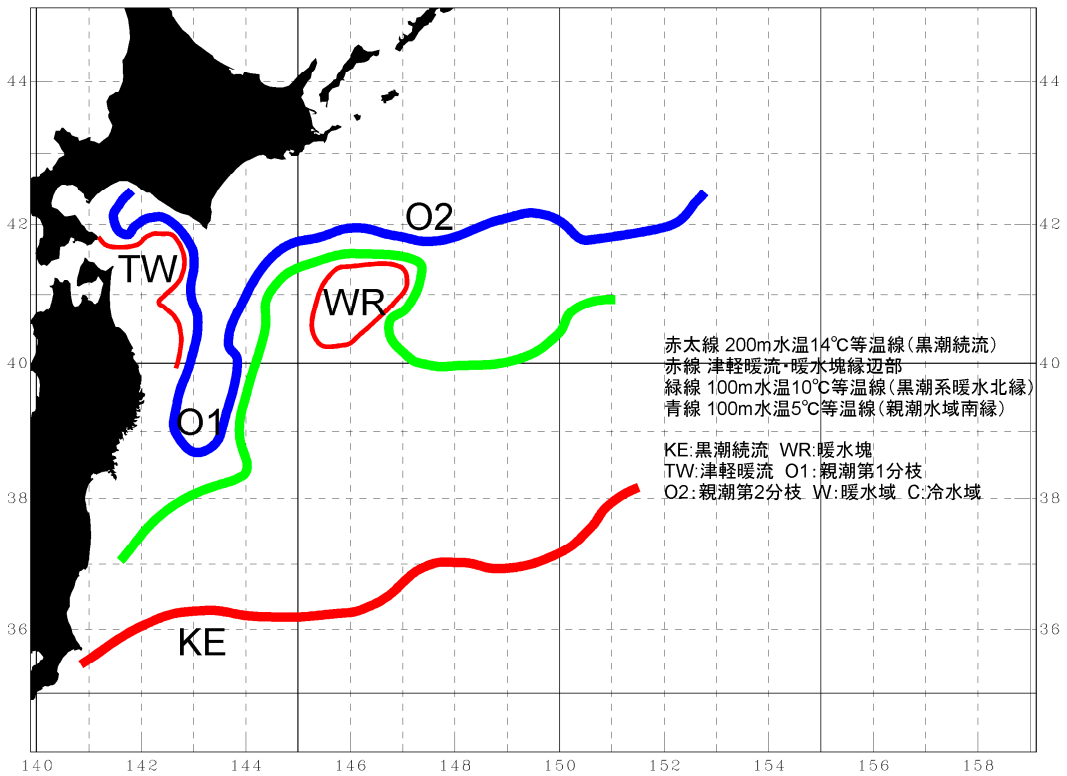
### 8月中旬予測水温分布図

Cor. TEMP. AT 100m DATE: 2019/0811 - 2019/0820



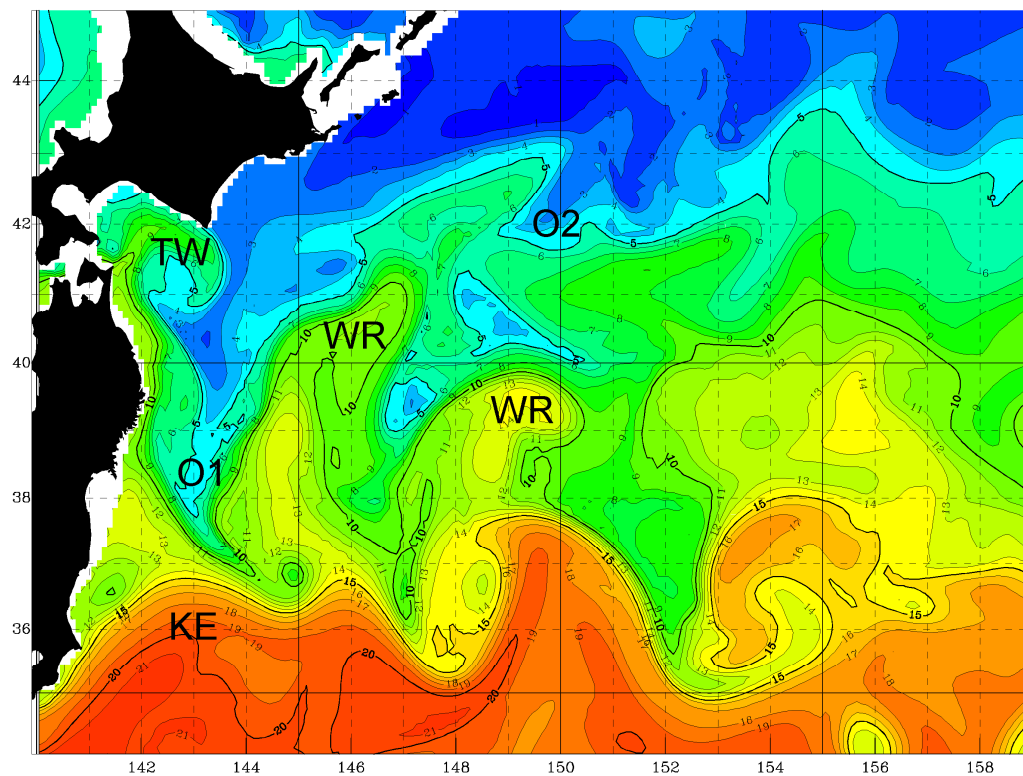
### 9月中旬予測水温分布図

Cor. TEMP. AT 100m DATE: 2019/0911 - 2019/0914



# 7月中旬の現況水温分布図 (100m深)

TEMPERATURE AT 100m DATE: 2019/0711 - 2019/0712



図中の記号はそれぞれO1が親潮第1分枝、O2が親潮第2分枝、KEが黒潮続流、TWが津軽暖流、WRが暖水塊、Cが冷水域を表している。

## 参 画 機 関

<p>地方独立行政法人 青森県産業技術センター 水産総合研究所</p> <p>岩手県水産技術センター</p> <p>宮城県水産技術総合センター</p> <p>福島県水産海洋研究センター</p> <p>茨城県水産試験場</p>	<p>国立研究開発法人 水産研究・教育機構 北海道区水産研究所</p> <p>(取りまとめ機関)</p> <p>国立研究開発法人水産研究・教育機構 東北区水産研究所</p>
--	--